

2025

6月16日(月)
—7月5日(土)

10:00-17:00

(入館は16:40まで)

日曜休館 入館無料

京都芸術大学 芸術館

京都芸術大学 人間館ギャラリー・オーブ2階



この展覧会は、主に表現研究Ⅲの授業で行った「紐・結ぶ」についての考察と制作を元にした展示となっております。芸術館のある北白川は、縄文にゆかりのある土地であり、ここでの展示は歴史と現代の融合を象徴する理想的な場となります。歴史ある工芸の技術と伝統を、現代の表現として再解釈し、発展させることを目的としています。また、この展覧会を通じて、日本人としての工芸のルーツを再認識するための手段とすることを目指します。

展示は、担当教員と学生とのワークショップ作品、そして芸術館のアーカイブと共に展示を行います。特に注目すべきは、紐を結ぶことから生まれるかたちを、陶芸と染織テキスタイルの技法を用いて新たに試みた作品群です。パラレルな縄文時代を想像しながら、創造の源を探っていく試みです。

<講演会>

「縄文原体とは何か？」

—What is the cord mark?—

7月5日(土)14時～ 会場：NC107

講師：高野 紗奈江 博士

京都大学総合博物館 研究員

京都大学大学院 文学研究科 人文学連携研究者

お申し込みはこちらから▶

<https://forms.gle/mxt1kEGKA4uwCsc56>



企画運営：京都芸術大学美術工芸学科 酒井稚恵、多和田有希、福本双紅、山元桂子

授業名：表現研究Ⅲ 学生：京都芸術大学美術工芸学科受講生(2024,25年度) 協力：清水博文

第1回芸術館企画公募展

芸術館では2025年度より本学教員による本学収蔵品と関連づけた企画展の公募を開始しました



KYOTO UNIVERSITY OF THE ARTS

学校法人 瓜生山学園

京都芸術大学

京都芸術大学 芸術館

<https://kyoto-geijutsu-kan.com/>

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

京都芸術大学 人間館ギャラリー・オーブ2階

開館時間：10:00～17:00 (入館は16:40まで)

入館無料 日曜休館